

研修機関	株式会社 スギヨ北陸工場
研修期間	平成18年11月1日～11月30日
所属・氏名	七尾市立東部中学校 真木 聖次

I 研修目的

- ・食品製造において企業の商品開発・製造・販売における経営方針を学ぶ。
- ・「安心」「安全」はもとより衛生面や食品管理の重要性を重視し組織として労働することを通して自己の視野を広げる。
- ・消費者ニーズに対応すべき企業理念や企業努力を知り、参考とすべき点を探る。

II 研修内容

1 調合工程

- ① 原材料の種類と前準備
- ② 調合方法の理解
- ③ 具材の種類と下処理及び検品方法

ア 冷凍すり身の箱出し、ごぼうゆで、すり身解凍袋出し、調味料の仕分け、調味料の調合、カット野菜を調べる、魚のすり身の配分作業、PMカードづくり等

2 形成工程（ちくわ・天ぷら・北の味）

- ① 形成肉を機械へ投入
- ② 焼成・油揚げ・蒸し工程の技能理解と補助作業
- ③ 加熱モニタリングの理解と実施

ア ちくわの芯棒の補充、材料の搬入、ふな缶洗い、機械部品洗い、材料の形成肉入れ、温度測定等

3 包装工程（北の味・ちくわ・天ぷら）

- ① 製品の検品と手直し作業（北の味）、製品の種類（ちくわ・天ぷら）
- ② 金属検出工程の理解（北の味）、冷却・金属モニタリング理解（ちくわ・天ぷら）
- ③ 梱包工程の補助作業（北の味）

ア 北の味トレイ補給、北の味業務用袋詰め、検査、箱折り、結束、箱積み等

III 研修成果

1 「社訓」と「理念」

社訓… ○健康は最大の幸福なり
○努力は最後の勝利なり

健康とは従業員自らの健康はもとより家族の健康もなくてはならないということであり、それが良い仕事を行う基本となっている。また、常にどうしたらもっと良くなるかということを考えながら日々の努力を惜しまない態度が個人を高め、会社を発展させていくことにつながる。

理念… 「我々は健康を尊び国際性溢れる食文化造りに貢献することで
社会の発展に寄与します。」

大競争時代に対応しうるため、スギヨの独創的で安全な食品を提供するために開発型企業を目指しマーケティング・製造方法・開発方法を変えて企業理念に則り取り組みを進めている。時代を見据え、消費者の要望に応えるよう企業努力を行っている。

2 株式会社スギヨグループ倫理コンプライアンス綱領から

(倫理コンプライアンスコンセプト)

企業や個人が持っている「良識（倫理）」に照らして、誠実で公正な行動をすることが強く求められている。その根幹となるのが「コンプライアンス」（企業倫理と法令・社会ルールの遵守）の考え方である。

株式会社スギヨは社訓と企業理念を掲げ、常に社会から安心と安全・信頼される企業を目指している。この企業像実現のために高い倫理観を持って、法令やルールをしっかりと守るというコンプライアンス精神を身につけ、社会評価を一層高めるよう行動している。

①コンプライアンスの基本を学校現場に置き換えてみると

- ・ 常に感謝の気持ちを持つ → 常に思いやりの気持ちを持つ
- ・ お客様の立場で考える → 生徒の立場で考える
- ・ 良識のモノサシを持つ → 生徒を差別しない態度
- ・ 不正なことは見逃さない → 過ちはきちんと直す
- ・ 必要な法令を習得する → 決まりを守る
- ・ 必要な会社の規定・細則・要項・マニュアルを習得する
→ 基本的な生活習慣を身に付ける

というように考えることができるのではないだろうか。会社も学校も集団の中の一員ということでは相通じるものがある。お互いに自分の立場を理解した上で協力すべき所は協力しながら相手を認め、励まして高め合うことが大事なことであり、と考える。

②自己啓発方法（セルフチェック）

- ・ 家族に胸を張って話せますか？ → 同
- ・ 見つからなければ大丈夫といませんか？ → 同
- ・ 株主の期待にこたえるものですか？ → 生徒や保護者の期待にこたえるもの
　　ですか？
- ・ お客様や地域社会のためになることですか？
→ 生徒や地域社会のためになることですか？
- ・ あなた自身の向上につながり、未来を開くものですか？
→ 自分自身のためになり高めていけるもの
　　ですか？
- ・ 第三者として、不祥事をニュースで見たらどう思いますか？
→ 第三者として他人の不祥事に対してどう
　　思いますか？
- ・ その結果について、自分が責任を取ることに納得していますか？
→ 同

常にこの7つの点についてセルフチェックすることで、行動が変わってくると思われる。生徒の行動（言動）や保護者の行動（言動）についても公正な眼を持つことが必要である。自己を向上させるには意識改革が不可欠なことである。

3 スギヨの年間キャッチフレーズ

①活力のあるあいさつをしよう

「おはよう！」「お疲れさま！」

- ・ 組織の中で働く上で社員同士のコミュニケーションは大切である。（声かけ）
会社に限らず学校、家庭においても挨拶は生活の基本である。将来、社会人となる生徒にとっては必要不可欠なことのひとつである。（挨拶一つできないことは恥ずかしいことである。）

②お客様には感謝の気持ちで
笑顔で「いらっしやいませ！」

- ・消費者からの信頼を得る。スギヨの製品は「安全・安心」（消費者に認めて頂ける製品作り）
これまでに築いてきたスギヨブランドの信頼を守ることの重要性を認識する必要性。

4 S P S（スギヨ プラクティス システム）

“必要なものを必要な時に生産する”

無駄を省き効率よい経営を目指す。

（調合・形成・包装・物流の各部署からメンバー構成している。）（2班編成）

- ・生産…日売品－見込み生産（出荷実績、天候、営業マン情報）見込み生産は注文数の80%を目安にし、後は追加で造っていく。
- ・業務用品（スーパー、コンビニ（365日生産）生産数は決まっている。）

5 品質管理体制

重要管理点（3カ所でチェックする）

- ① 加熱 中心温度 80℃以上（製品の出来上がりの最初と最後に行う）
- ② 冷却 10℃以下
- ③ 金属検知・重量選別

1日にちくわ30万本、カニ風味かまぼこ15万パックを製造・出荷しているがスギヨの工場では独自の生産ラインを有し日本全国に日々商品を安定供給しながら、決して事故を起こさないための徹底した品質管理、総合衛生管理体制を整備している。

1997年、業界内に先がけて食品加工生産における安全管理の世界標準である「HACCP」を北陸工場で取得している。また、1999年にも北陸工場は、厚生労働省が認める「総合衛生管理製造過程承認工場」となっている。

6 衛生面の徹底

各部署へ入るときはマスク着用、粘着ローラーで作業着の毛髪・ほこりをとる、手洗い（マニュアル）乾燥、アルコール噴霧の手順で行われる。また、決まった時間帯に粘着ローラーをかけに係の人が巡回もしている。食品を扱うことから衛生面に関しては注意徹底している。

7 目標テーマ（北陸工場11月度目標テーマ）

“クレーム発生0（ゼロ）を必達させる”

クレームに対しては自らの仕事を振り返り原因を探り改善していくよう見直しを怠らない体制をとっている。

“全体製品の歩留1.5%アップを達成させる”

※信用と信頼（製品の信用、消費者からの信頼）

調合、形成、包装の各部署においては異物混入の防止や重要管理点によるチェックで徹底した管理規準を遵守して製品作りにあたっている。

8 P（Plan）→D（Do）→C（Check）→A（Action）のサイクル

仕事をする上で、計画を立て、それを実行し、検証して、行動を起こし、そして又計画を立て、実行に移し…の繰り返しで物事を進めていくことでよりよいものが生まれる。

学校も同じである。授業案をつくり、実践し、反省点を出し、改めて指導する。日々この繰り返しであることが望ましいのである。

IV 今後の課題

今回の研修では、スギヨ北陸工場での労働の全て（調合・形成・包装）を体験することができた。現場に入って初めて知ることが数多くあり、仕事の内容も部署ごとに様々で苦勞した。共通していることは食品を扱うという点から衛生面が重要視されていた。研修の目的については、私自身概ね達成できたと感じている。

学校現場で生徒に物事を教えていくことは、生徒の扱いをどうするかということ教師が十分考え接していかなければならないのである。教師と生徒（家庭）とのよりよい人間関係を築いていくことが益々望まれるであろう。

「消費者に満足頂ける商品をつくること」スギヨは創業以来地域に根ざし地場産業の振興と一貫して開発型企业であり続けることを思考している。これは学校現場に置き換えるならば、地域と連携し、地域に開かれた学校であるということであり、創意工夫により、生徒にわかる授業を常に考え実践するということになるのではないだろうか。開発型学校とは、現状に満足しているだけではなく“もっと良くなるには、もっとわかりやすくするにはどうしたらよいか”ということ教師側が考え実践していくことであると考えます。

私自身がそうであるように、指導の“マンネリ化”を筆頭にいくつかの負の要素が教師側にあると思う。学校現場を離れ一企業の研修生として仕事を学ぶ点では自分を一回り成長させてもらったという印象が強く残った。教えられる立場に自分になり改めて教える側の苦勞も感じ取ることもできた。（相手を理解させることの難しさ、わかりやすい話し方等）

各部署で自分の仕事にやりがいを持って仕事に向かっている社員の方々の姿に学校では感じることはできない刺激を受け、これからの仕事に向かっていく気力を頂くことができた。

最後に今回1ヶ月の研修を快く受け入れて下さいましたスギヨ北陸工場の田内工場長をはじめ細かく丁寧に指導して下さいました従業員の皆様心から感謝いたします。

また、このような貴重な研修の機会を与えて下さった石川県教育委員会、七尾市教育委員会、東部中の学校長はじめ教職員の皆様に感謝致します。